

【取り組みのねらい】

新学習指導要領では「内容」として「話すこと・聞くこと」が項目に挙げられ、「意見を述べる」・「効果的に話したりの確に聞き取ったりする」ことを『指導する。』と明記されている。しかも「取扱い」として『15〜25単位時間程度』の配当時間や、スピーチ・説明・報告・発表・話し合い・討論という具体的内容まで例示された。

今回は、韻文を身体表現を交えてプレゼンテーションする、というねらいを形成した。更に生徒の興味を喚起する意味で、彼らの最も身近な情報ツールである携帯電話やスマートホンの写真機能を利用する。新聞写真から考察した身体表現を撮影・送信・プレゼンテーションという手順を踏む。

【進め方】

- ①新聞を読み込み、季節性のある記事または写真を探し、ケータイかスマホのカメラで撮影。
- ②その記事&写真を素にして、俳句を創作する。
- ③俳句には季語を入れること。また内容に飛躍をもたせ、芸術性を高めるよう創意工夫すること。
- ④俳句は3句なので3Actionまでの、内容に関連した身体表現を考えること。
- ⑤俳句の3Actionを自分の身体で表現し、静止画モードによるケータイかスマホのカメラで撮影。
  - \*被写体は自分自身であること。撮影者は自分でもよいし、友人・家族に依頼しても良い。
  - \*制服装着用
  - \*後にプレゼンテーションを行うことを考慮すること。
- ⑥送信（アドレスはプレゼン用にフリーアカウントを取得、全員に配信できるようにしておく）
- ⑦送信指示の注意事項
  - a 件名は「HRNO」1字空け「氏名」
  - b 本文は俳句
  - c 添付ファイルは「新聞記事か写真の静止画」+「自分のAction静止画」。容量上から動画は不可とする。
- ⑧配信後、その画面を見ながらプレゼンテーション発表
- ⑨生徒の相互評価

新聞より選んだ写真の貼り付け欄

生徒に配付用の「アイデアまとめ用紙」

				【HR】 【番号】 【氏名】
参考新聞記事 貼り付け、書写欄 (貼り付けは全面糊付け、書写の際、長文は要約) 【新聞】 年 月 日 曜日 【版】	Action 1			
	Action 2			
	Action 3			

コピーを生徒に渡す際、左記の指導アドバイスは消してからコピーしてください。

【学習の効果】

情報機器の利用とNIEの組み合わせ、という観点からパソコンやネットを利用した韻文取り組みである。これも新学習指導要領に「情報を活用して、公正かつ適切に判断する能力や創造的精神を養うのに役立つこと。」と挙げられている内容へ対応したものである。

【指導上の注意、課題】

肖像権には十分配慮して、実践することが望まれる。また、アドレスの管理や授業終了後における個人情報削除など、情報ツールを授業に活用した後の手順など、怠りなく対処する必要がある。